



# 都城西ロータリークラブ

## Miyakonojo-West Rotary Club

2007年～2008年度 クラブテーマ

明るく・楽しく・元気よく

会長 小田 賢一

幹事 小俵 武



" ROTARY SHARES "  
2007-2008年度RI会長  
ウィルフリッドJ.ウィルキンソン氏

週報 第1538回 平成19年 8月22日

国際ロータリー第2730地区 都城西ロータリークラブ 創立1976年3月10日 例会：毎週水曜日 例会場：ホテル中山荘 Tel 0986-23-3666  
事務局：メインホテルナカムラ4F Tel 0986-25-0834 Fax 0986-25-0618 Mail : rc2730@lily.ocn.ne.jp http://miyakonojo.sakura.ne.jp

### 点鐘

合唱 それでこそロータリー

ビジター紹介 8/15分

### ◎ 都城

山田 裕一 岩本 八郎 瀬口 雅文 緒方 洵

岡崎 誠一 下森 康玄 横山修一郎

### ◎ 都城北

梅崎 裕一

### ◎ 都城中央

塩屋三智年 前田 瑞国

8/22分

### ◎ 都城

なし

### ◎ 都城北

園田 道雄

### ◎ 都城中央

なし

### □会長の時間 小田 賢一

みなさん、こんにちは。

炎天下の8月は、日本人にとって死者と共に過ごす月です。6日のヒロシマ、9日のナガサキ原爆忌、15日の終戦記念日、そして先祖の魂を悼む(いたむ)お盆のある8月は生きている者にとって、亡くなった人々へ思いをはせる月であります。

昨年の鎌田前会長の8月9日の『会長の時間』を読んで見ますと、「人の命は消えるものではない。その人の命を記憶している人の心の中で生きていくものである。」とありました。…全く同感であります。

私も入会してから、お見送りした方々は、益山松雄さん、窪田次生さん、園田文雄さん、平田幸雄さん、加治屋寧人さん、大田正之さん、田之上幸一さん、妹尾良秋さん、長倉和幸さん、高辺明夫さん、10名になります。特に印象に残る方々は、いつも大変優しくあった園田文雄先生、歌の上手だった平田幸雄さん、RCを本当に愛していた大田正之さんなどです。いつでもいつもこの方々への思いは、我々ロータリアンの心の中にあります。改めて、ご冥福をお祈り致したいと思います。

「死とはなにか？」という問題については古くから哲学者や思想家、そして宗教家達が問い続けて来ました。論語では「いまだ生を知らず、いづくぞ死を

知らん」と孔子は言いました。「いまだに生きることを知らない、語れない。どうして死ぬことが分かるか、語れようか」という意味でしょうか？！

しかし孔子が言おうとした意味は、おそらく今を精一杯生きていれば、おのずと死の意味も明らかになるという事だったのではないかと思います。

死を迎えた時に、もし心残りや悔しさばかりが満ちているようなら、その人は人生を精いっぱい生きたとは言えません。もし、安らかにあの世に行く心の平穏を感じれば、おそらくその人は十分に生きたと言うことでしょう。死ぬことは生き方の答えなのかもしれません。

ともかく死は間違いなく、すべての人に訪れます。人生の最終章であり、残るのはその人自身の生命の実像しかありません。その為にも生ある一日一日を大切に生きていきたいものです。

さて本日は会員増強フォーラムです。今月は岡崎会員の御尽力で2名の新入会者を迎えることが出来ました。どのような組織でも現状維持では衰退して行きます。会員増強は組織の発展の為には永遠の課題であります。

大人になってからは、年をとってからは、あまり真の友情は出来にくいと言われますが、ロータリー歴12年の私は入会してから生涯の友人がたくさん出来ました。真の友を得ることが出来るのがロータリークラブだと、自信を持って言いたいと思います。皆さんのお力で、西クラブの会員増強を推進して行きたいと思えます。

外山会員増強委員長、後程の増強フォーラム、よろしくお願ひ致します。

…ともかく毎日暑いですので、熱中症に罹らぬように水分補給や栄養、睡眠を十分取って、この夏を乗り切って行きましょう。



会長の時間でした。

□幹事報告

小俵 武

- ガバナー……………\*地区大会チラシ  
\*会員夫人の会に関するアンケート
- 地区IA……………韓国海外研修のご案内  
10/25.26.27.28(木～日)
- 地区職業奉仕…職業奉仕委員長会ご案内  
9/9(日)13:00-15:00 メインホール
- 都城自衛隊……広報誌「霧島」195号

□クラブ報告事項

- 臨時総会(例会)のお知らせ 9/5(水) \*  
定款細則の改正について
- 地区大会登録確認と登録料納入のお願い
- 8月定例理事会 8/29(水)  
18:30-きりしま茶屋
- 都城西高校IAC  
新潟中越沖地震義捐金街頭募金のお知らせ  
8/26(日)13:00-16:00  
ジャスコ都城店 正面玄関入り口

□出席報告

|          |        |        |
|----------|--------|--------|
| 会員数      | 64名    |        |
| 出免数      | 4名     |        |
| 出席数      | 48名    |        |
| 出席率      | 80.00% |        |
| 前々回修正出席率 | 8/8    | 95.00% |
| 前回修正出席率  | 8/15   | 特休     |

|         |   |
|---------|---|
| 届出有     | 中村静 今井 藤岡 吉元<br>吉田勉 河村 最勝寺 高辺<br>草水 盛田 久保 |
| MU有会員   |   |
| 8/10 都城 | 柳田 土持 岩下 河村 大峯<br>福本 久保                   |
| 8/14 北  | 木佐貴 鮫島 山浦 河村                              |
| 8/16 中央 | 草水 吉元                                     |
| 8/17 都城 | 土持 川元 藤岡 吉元 河村                            |
| 8/21 北  | 岩下 内藤 甲斐 山浦 大浦                            |
| MU無会員   |   |
| 8/1     | 鎌田継 串間 永野 中村七<br>馬渡 吉田勉                   |
| 要MU会員   |   |
| 8/8     | 脇丸 吉田勉 中村静                                |

□委員会報告



30年 河中 功 7年 徳重 幸男 各氏

米山功労賞



久木野誠一会員

□SAA報告

鳥集 寿一

◎ ニコニコ箱

- 都城北・園田 道雄…小田会長、暑い中ご苦労さま。  
ご活躍を
- 川元 巖…納涼例会の写真を頂いて徳重さんありがとうございました
- 小田 賢一…外山増強委員長ありがとうございます。  
岩橋会員、徳重会員より写真(納涼例会)を  
頂きました。ありがとうございました
- 山浦 栄巳…今年も納涼例会の写真を頂きました
- 四季 勝…写真を一杯頂きました
- 萩原 和洋…徳重さん納涼例会のスナップ写真を頂いて
- 河中 功…いつの間にか30年経ってしまいました。  
健康であった事に感謝
- 外山 俊明…久保さんお帰りなさい  
鬼束さん新入会おめでとうございませす
- 小俵 武…徳重会員より小田年度第1回例会 DVD と写  
真を頂きまして、岩橋会員より写真を頂いて  
少々

◎ 米山奨学会

- 鎌田 博文・徳重 幸男・長友 喜信・串間 保寛  
…米山奨学会へ
- 久木野誠一…本日功労賞を頂きありがとうございます

◎ 教育振興基金

- 長友 喜信…教育振興基金
- 串間 保寛… 同じ
- 井福 博文…教育振興基金へのご協力をお願いいたします

◎ 今後のプログラム

- 9/5 新世代担当例会
- 9/12 出席委員会担当
- 9/19 プログラム担当例会

|         | 8/22    | 計       |
|---------|---------|---------|
| ニコニコBOX | 12,000  | 90,000  |
| ゴールドBOX | 3,051   | 22,989  |
| ロータリー財団 | 0       | 85,400  |
| 米山奨学会   | 43,000  | 143,000 |
| 教育振興基金  | 13,000  | 93,000  |
|         | *竹と風の学校 | 17,257  |

雑誌会報委員会

志摩 誓啓 吉田 勉 鮫島 孝慶 馬渡 秀光  
甲斐 克彦 ロータリー事務局 制作

インターネット委員会

□ 本日のプログラム

# 会員増強フォーラム



会員増強 外山 俊明委員長



## 西高 | ACジャスコにて募金活動



平成19年8月26日(日)  
13:00~16:00  
ジャスコ正面玄関にて

**¥80,012**

集まりました！  
暑い中ご苦労さまでした。



偶々8月22日の我が西ロータリークラブ例会は、奇しくもと言うか米山奨学会にとって有意義な日であった。我々の敬愛する 久木野 誠一氏が、米山功労者として第一回の表彰を財団法人ロータリー米山記念奨学会、島津理事長からお受けになったのである。その伝達役を私が仰せつかった。誠に光栄なことであった。そしてその日に戴いた「ロータリーの友」8月号に「米山奨学事業の基礎知識」＝奨学制度編＝が掲載されていた。渡りに船 で早速引用させて戴くこととする。

### 「よねやま」って？

ロータリー米山奨学事業とは、全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。ロータリーは国際親善と世界平和を目的とする、さまざまな国際的教育支援プログラムがありますが、米山奨学事業は、日本で学ぶ奨学生を支援すること、特に将来、母国と日本の懸け橋として貢献することが期待できる優秀な学生の支援に力を注いでいます。

### 何がすごいのか？

一番の特徴は、その規模です。米山奨学生の採用数は年間800人。世界規模で展開しているロータリー財団国際親善奨学生の年間採用数と同じです。これだけの外国人留学生を支援している奨学団体は、事業規模、採用数とも日本国内では民間最大。これまでに支援した奨学生数は累計で1万3、902人（2007年4月末現在）、その出身国は、世界109の国と地域に及びます。

そして、他奨学団体からも注目を浴びているのが「世話クラブ・カウンセラー制度」です。各奨学生に世話クラブが選ばれ、更に会員の中からカウンセラーがつけます。会員と共に奉仕活動に参加したり、人生の先輩からアドバイスを受けたりすることは、奨学生にとってかけがえのない経験です。

ロータリアンにとっても、交流を通して異文化を知り、米山奨学事業の意義を実感できる絶好の機会です。ここではぐくまれた絆から、地区の世界社会奉仕プログラムへ発展した事例もあります。

### 財団設立40周年を迎えて

1952年、戦後の復興が進む中、東京ロータリークラブで「日本のロータリーの父・米山梅吉氏の遺徳を永遠に偲ぶことのできる、有益な事業をやろう」という機運が高まりました。こうして、“平和日本”を世界に伝える願いを込めた、国際奨学事業が始まったのです。

この活動が日本の全クラブによる共同事業として発展し、1967年7月に文部省（現、文部科学省）を主務官庁とする財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。2007年は、財団設立40周年の記念すべき年です。

米山奨学事業は、日本のロータリアンが生み育てた独自のプログラムであり、多地区合同奉仕活動として、国際ロータリー理事会から承認されています。

### その他

1万4000人に及ぶ米山学友の皆さんは、韓国中日大使やスリランカ警察庁長官など世界中で活躍されている人が沢山おられますが、連絡の途絶えた人も少なくないので、現在、「米山学友の消息を尋ねる運動」が展開されています。

奨学金は、学部課程『月額10万円』修士課程『月額14万円』博士課程『月額14万円』などとなっています。また、大学、大学院以外の教育機関を対象とするプログラムや、地区の裁量によって、短大、高専、専修学校などを指定校にする制度もあります。

この機会に、今年で丁度財団法人となって40年を迎えた米山記念奨学会の象徴である「米山 梅吉」氏について触れてみようと思います。

米山 梅吉氏（1868－1946）は、幼少にして父と死別し、母の手一つで育てられました。16歳の時、静岡県長泉町から上京し、働きながら勉学に励みました。20才で米国へ渡り、ベルモント・アカデミー（カリフォルニア州）ウエスレアン大学（オハイオ州）シラキュース大学（ニューヨーク州）で8年間の苦学の留学生活を送りました。

帰国後、文筆家を志して 勝 海舟に師事しますが、友人の薦めで三井銀行に入社し常務取締役となり、その後、三井信託株式会社を創立し取締役社長に就任しました。

信託業法が制定されるといち早く信託会社を設立して新分野を開拓し、その目的を“社会への貢献”とするなど、今日でいうフィランソピー（Philanthropy）＝貧しい人への寄付、援助などで示す人類愛、博愛＝の基盤を作りました。

晩年は財団法人三井報恩会の理事長となり、ハンセン病、結核、癌研究の助成など多くの社会事業、医療事業に奉仕しました。また、子供の教育のために、はる夫人と共に私財を投じて小学校を創立しました。

“何事も人々からしてほしいと望むことは人々にもそのとおりにせよ。”これは 米山 梅吉氏の願いでもあり、ご自身の生涯そのものでした。

“他人への思いやりと助け合い”の精神を身をもって行いつつ、そのことについて多くを語らなかつた陰徳の人でした。

私たちロータリアンにとってまさに師表となるべき人だと思います。

米山記念奨学会の精神を良くご理解いただいて、例会の都度ご配慮を戴いている我が西ロータリークラブの皆さんに心から感謝申しあげてこの稿を終わります。